

鹿児島県内における公共交通総合案内システムの構築

社会システム事業部 統合情報技術部 船田 晋 他

○キーワード

交通ナビかごしま、公共交通、バス、乗り継ぎ検索、リモートメンテナンス、VPN

○概要

平成 22 年度末に九州新幹線鹿児島ルートが全線開業となる鹿児島県内においては、インターネットなどを活用した県民や観光客への簡単で円滑な公共交通情報の提供が求められている。平成 20 年度に、統合情報技術部および大阪支店では、鹿児島県公共交通総合案内システム整備業務委託にて、県内の公共交通機関の路線、運賃等の情報検索機能、主要交通結節点に設置した情報表示装置によって構成される公共交通総合案内システムを構築した。本論文では、システム構築の事例紹介と共に、2009 年 4 月より運用開始したシステムの評価を行う。今後、本システムが地方中核都市の公共交通総合案内システムのモデルとなるように、さらなるシステムの改善を実施する。

○技術ポイント

公共交通総合案内システムの構築においては、既存の公共交通及びその情報提供状況を整理・把握し、如何に問題点を抽出できるかがポイントである。実際のシステム構築に当たっては、求められる機能の検討を行った上で、以下に挙げる情報技術が必要であり、それらを統合することが不可欠である。

- ① Web システム開発、Web デザイン
- ② バス運行情報等のデータベース構築
- ③ 現地設備、電子案内情報板の設計、製作・設置工事のノウハウ

○図・表・写真等



交通ナビかごしまのトップページ



現地設備 (KIOSK 端末と大型ディスプレイ)

Web システムではあらゆる利用場面を想定し、必要とするときに、効率的に公共交通情報（時刻表、乗継情報、乗り場案内、運行・イベント情報等）が提供できるよう、三つの媒体（パソコン、携帯電話、KIOSK 端末）を用いてアクセスし、情報提供サービスを行う。

鹿児島中央駅前広場に設置した筐体には、耐熱、防水、防塵対策を採っている。また、景観や防犯、メンテナンスに配慮した設計を実施している。